

地方創生 住民が創る持続可能な地域づくり



NPO法人 きらりよしじまネットワーク
事務局長 高橋由和

川西町

昭和の大合併で1町5ヶ村が一つになった町(人口約16,000人)

- ・町の花 ダリア
- ・著名人 井上ひさし

7地区(小学校区)で町を構成
それぞれに地域運営組織がある。

吉島地区

面積 15.72Km²

人口 2,583人

(27年8月末現在)

世帯数 727戸

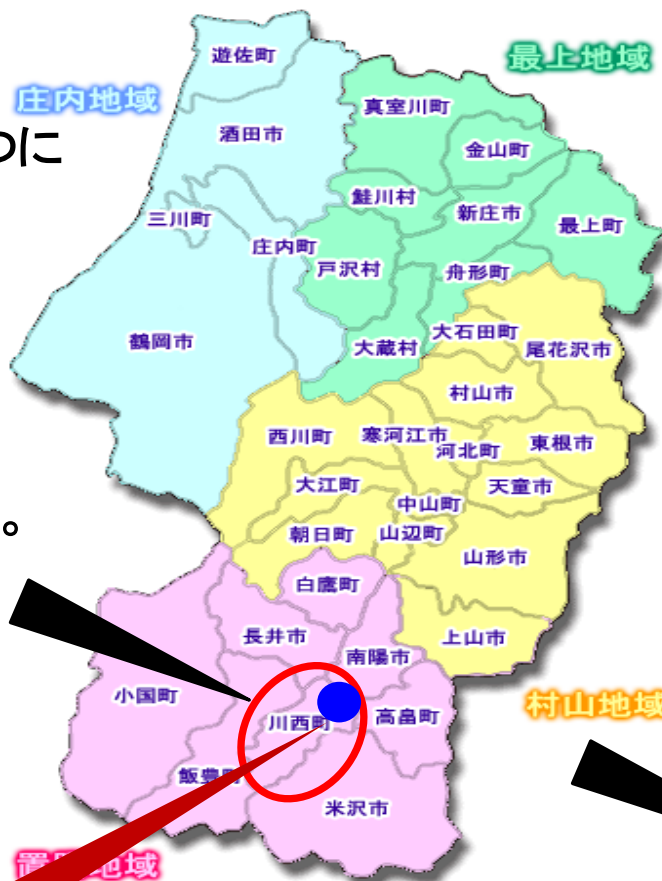
農家数 360戸

自治会 22

公民館 19

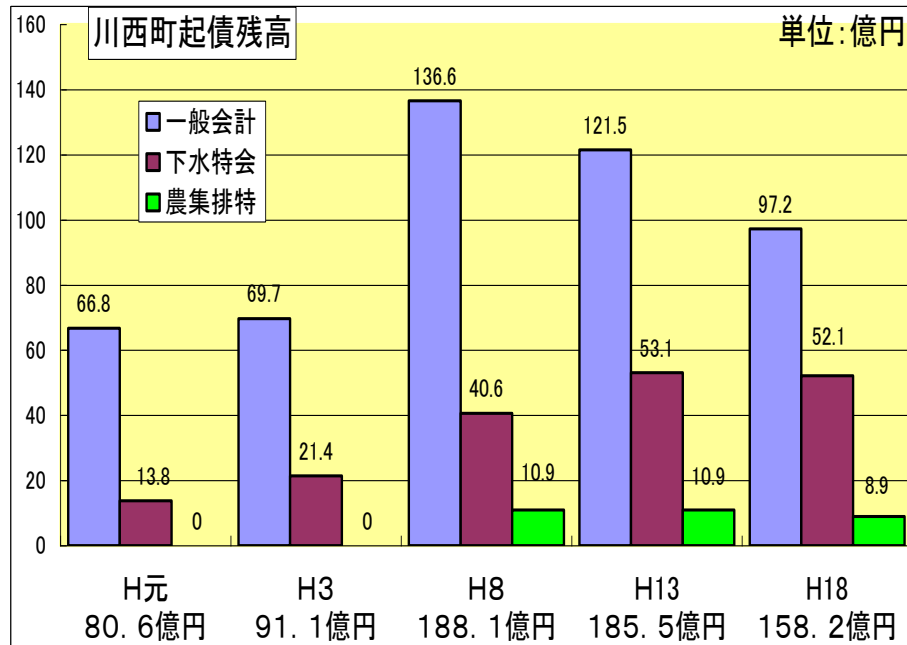
小学校 1

高齢化率32%



川西町

行財政改革



2002

地区公民館の公設民営化

地区公民館事業を推進する団体に公民館運営を委託
地域から人材を採用

2006

地区公民館の指定管理者制度

7地区の地区計画が作成される (地区経営母体が設置)
計画の事業を実施するための地域づくり交付金が交付

2009

地区公民館のコミセン化

地区公民館がコミセン化され、多様な活動拠点となる

地区公民館
(社会教育振興会)

**自治会長
連絡協議会**

防犯協会

**地区社会福祉
協議会**

衛生組織連合会

1. 役員の重複と高齢化(担い手不足)
2. 活動がニーズに対応できていない
3. 事業のマンネリ化
4. 一方的な会議で承認作業
5. 縦割りで横のつながりが無い
6. 余剰金がある
7. 若者の出番が少ない

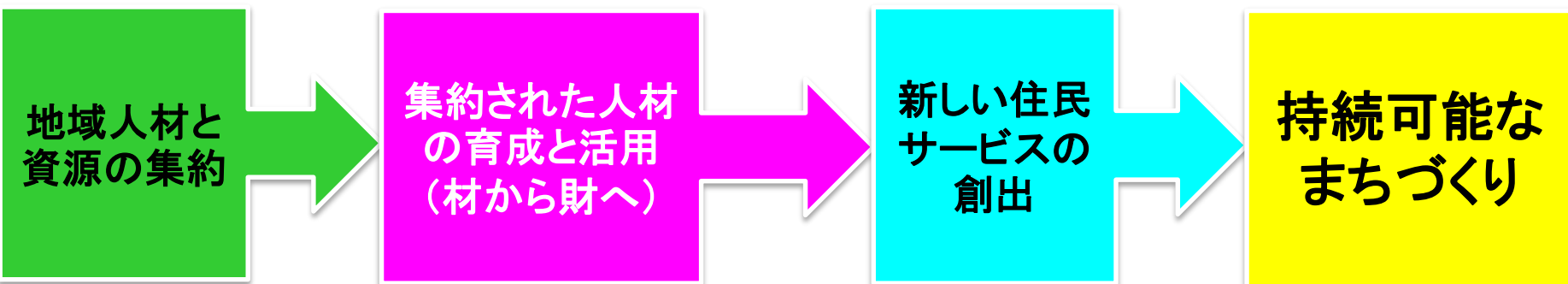
当時、地域の団体は、地区公民館が事務局だったが、活動は形骸化し、課題も山積。

地域づくりを統治する地縁と志縁が つながる優良な事業主体の創造

住民が求める本当に必要なものは何かを考える。

地域や住民の「利益の最大化」を考える。

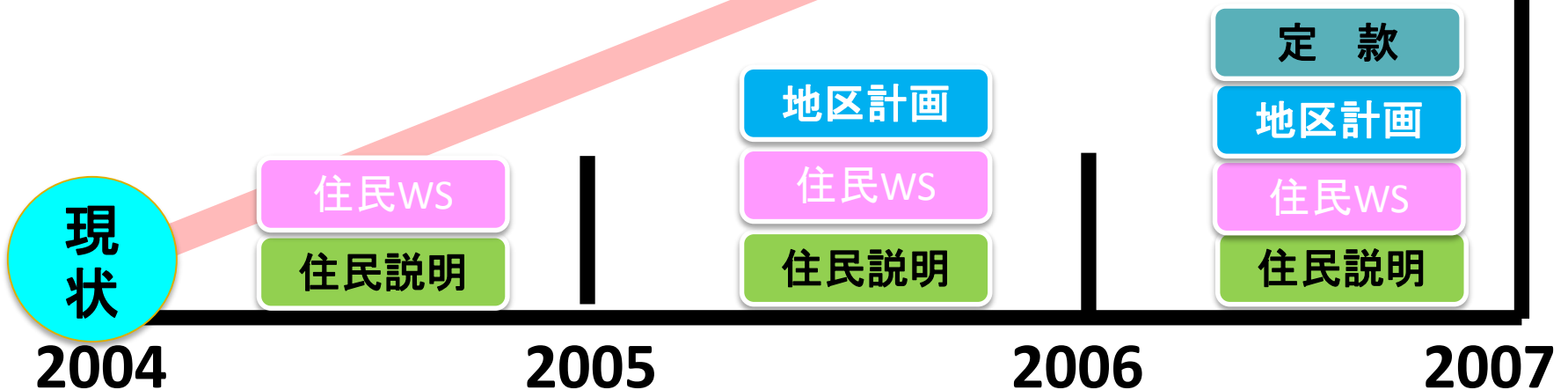
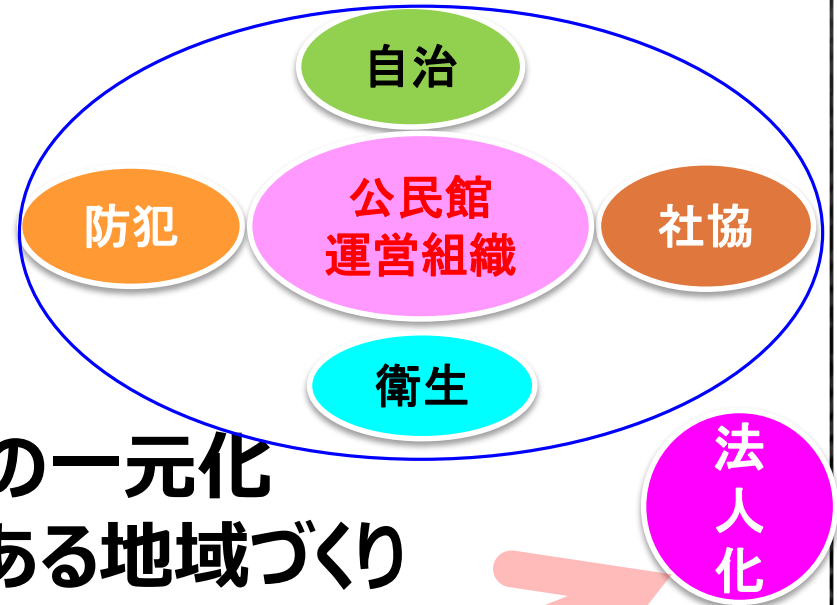
行政依存するのではなく、住民の心の中での愛郷心を育み
暮らしの課題を解決する事業を展開。



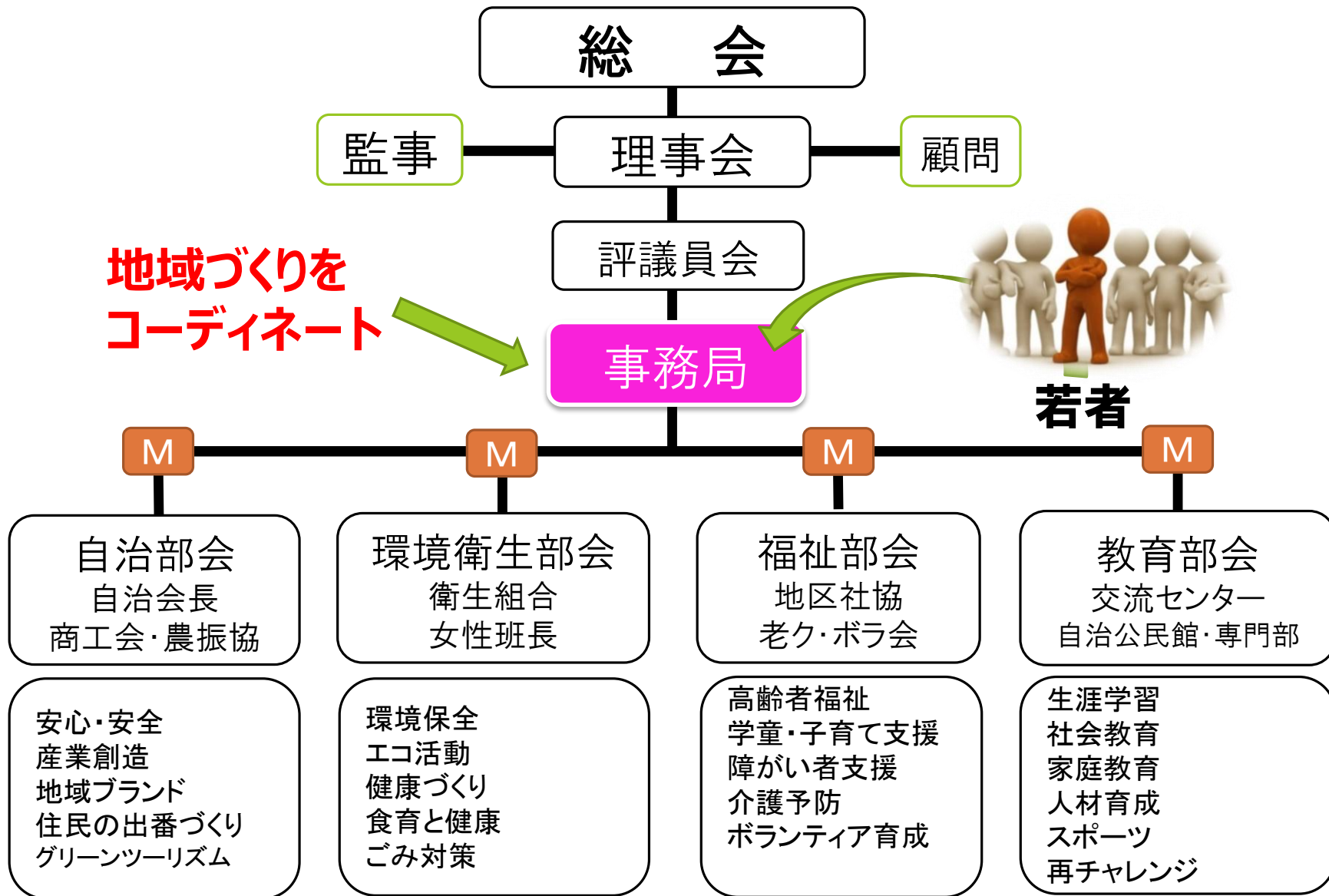
地域再生への提案

NPO法人(全世帯加入)

1. 各団体の合意形成と会計の一元化
2. 計画に基づいたスピードのある地域づくり
3. 担い手育成のシステム化 (マネジメントとプレイヤー)



人がつながって、動く組織に再編



地区交流センターの指定管理者と地区運営組織

地区名	人口 (世帯数)	指定管理者 (地区経営母体)	組織内専門部会
小松	5,029人 (1,642戸)	小松地区地域振興協議会	自治防犯部／環境衛生部／福祉部 産業商工部／教育部 (5部会)
大塚	2,191人 (642戸)	大塚地区社会を明るくする 協議会	生涯学習部／教育福祉部 生活環境部／地域振興部 (4部会)
犬川	1,888人 (734戸)	いぬかわ振興協議会	教育文化部／体育部／環境整備部 防犯衛生部／福祉部／産業振興部 防災部(7部会)
中郡	2,999人 (945戸)	中郡地区社会教育振興会	生涯学習部会／社会福祉部会 環境整備部会／安全・安心部会 産業・広報部会 (5部会)
玉庭	998人 (302戸)	玉庭地区交流センター 四方山館	生涯学習部／環境衛生部 地域福祉部／産業振興部 防災安全部(5部会)
東沢	613人 (186戸)	東沢地区協働のまちづくり 推進会議	運営委員会／社会教育部／防災部 福祉部衛生部／整備部 (6部会)
吉島	2,578人 (727戸)	特定非営利活動法人 きらりよじまネットワーク	自治部会／環境衛生部会／福祉部会 教育部会(4部会)

地域づくりの4つの仕組み

1. 合意形成（まちづくりのPDCA）
2. ひとづくり（つなげる）
3. 資金づくり（しごと）
4. つながる（ネットワーク）

将来ビジョン

<地区計画の体系>

将来像 基本目標 分野別目標 施策の柱 行動領域 実施計画

人が輝き喜びと楽しさを分かち合える里づくり
 きらりよしじまの創造

歴史と文化でつなぐ新しい暮らしの創造

自治部会
 住んでみたいまちづくり
 住み続けるまちづくり

- ・地域活性とコミュニティづくり
- ・地域資源を活かした産業の創造
- ・住民の安全・安心づくり

取り組む
 内容

20**
 ~20**

環境衛生部会
 暮らしと環境の共生

- ・ごみゼロよしじま
- ・自然にやさしいよしじま
- ・健康の里よしじま

取り組む
 内容

20**
 20**

福祉部会
 安心して暮らせる活気
 ある吉島

- ・地域ぐるみの子育て支援
- ・みんなが見出す生きがいづくり
- ・地域ぐるみの高齢者支援

取り組む
 内容

20**
 ~20**

教育部会
 子どもからお年寄りまで
 一緒に学べる吉島

- ・地域リーダー育成と住民資質の向上
- ・元気な心と体で生きがいを見出す地域生涯学習
- ・地域教育力でつながる子育て

取り組む
 内容

20**
 ~20**

テーマ:みんなが主役の地域づくり
 (forからwithへ)

専門部会

主な事業

自治部会

- ①自主防災活動 ②総合防災訓練 ③消防団連携事業 ④要望請願
- ⑤防犯活動⑥防犯灯設置事業⑦要援護者サポート事業
- ⑧危険個所マップ ⑨よしじまっ子見守り隊 ⑩よしじまふれあい祭
- ⑪地域内交流事業 ⑫産直事業 ⑬ネット販売事業 ⑭6次産業事業
- ⑮各種研修事業

福祉部会

- ①学童保育事業 ②高齢者見守り事業 ③買い物支援見守り事業
- ④高齢者居場所づくり⑤いきいきサロン ⑥買い物ツアーサービス
- ⑦再チャレンジ事業 ⑧生活支援事業 ⑨シルバー健康レク大会
- ⑩除雪支援事業 ⑪敬老会事業 ⑫介護予防事業 ⑬各種研修事業

環境衛生部会

- ①ビオトープ管理事業 ②廃食用油回収事業 ③資源ごみ回収事業
- ④マイロードサポート事業 ⑤緑化推進事業 ⑥冬期間ごみ回収事業
- ⑦EM石鹼講習事業 ⑧EM石鹼全戸配布 ⑨多面的機能事業
- ⑩各種研修事業

教育部会

- ①青少年健全育成事業 ②マイミススポーツクラブ ③キッズジョブ
- ④地区運動会 ⑤家庭教育学級事業 ⑥冬季スポーツレク大会
- ⑦インターンシップ事業 ⑧学校支援事業 ⑩講習研修事業

住民活動支援

- ①青少年活動支援助成金 ②女性活動団体支援助成金
- ③福祉活動団体支援助成金 ④自治活動支援助成金
- ⑤基金事業助成金



①WS・アンケート・各小委員会



②課題整理と企画（事務局）



③企画の精査（理事会）



④総会で承認を得て事業開始



話し合い(W/S)の中心は地域の若者

課題を探す場
やってみたいことを考える場

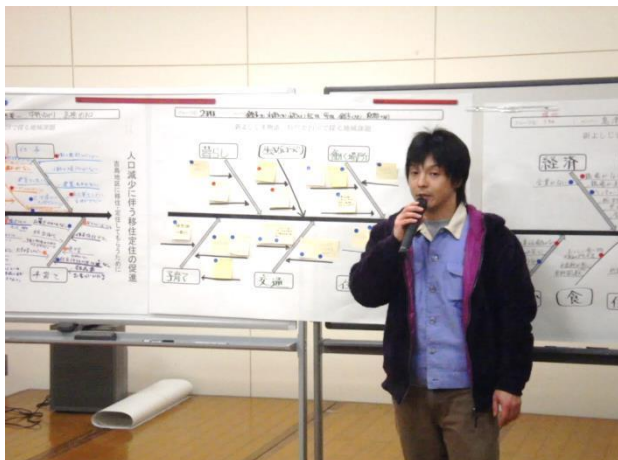
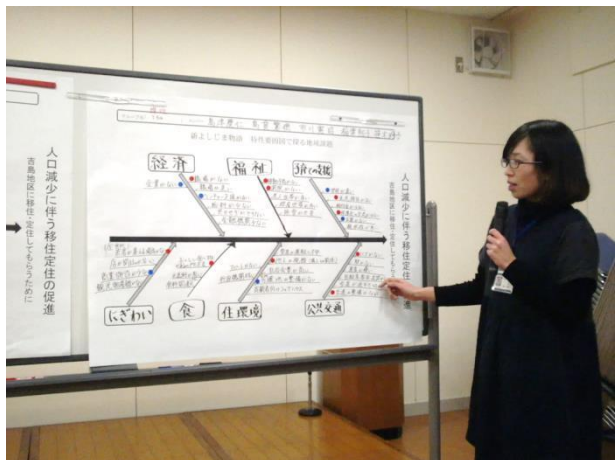




課題の集約 解析 改善 検証



PDCAを標準化



項目	担当者	実施期間	実施状況
1	山本 太郎	2023.01.01 - 2023.01.31	完了
2	山本 太郎	2023.02.01 - 2023.02.28	完了
3	山本 太郎	2023.03.01 - 2023.03.31	完了
4	山本 太郎	2023.04.01 - 2023.04.30	完了
5	山本 太郎	2023.05.01 - 2023.05.31	完了
6	山本 太郎	2023.06.01 - 2023.06.30	完了
7	山本 太郎	2023.07.01 - 2023.07.31	完了
8	山本 太郎	2023.08.01 - 2023.08.31	完了
9	山本 太郎	2023.09.01 - 2023.09.30	完了
10	山本 太郎	2023.10.01 - 2023.10.31	完了
11	山本 太郎	2023.11.01 - 2023.11.30	完了
12	山本 太郎	2023.12.01 - 2023.12.31	完了

話し合いの出口を明確にして

PDCAサイクルで課題解決

＜住民が考え、実践し検証する文化＞

住民＝郷土愛・いきがい・利益・評価・etc



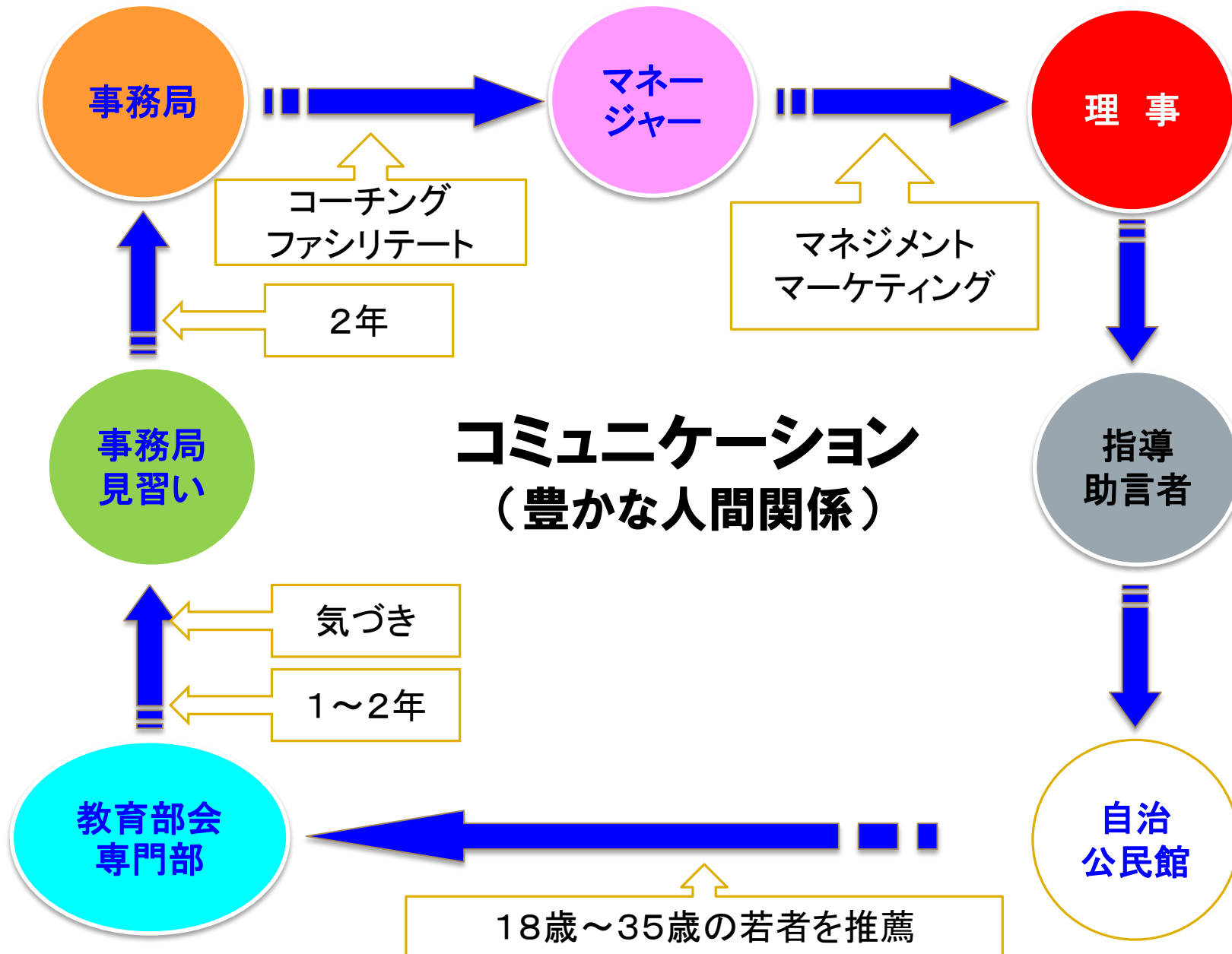
人づくり



地域づくりの組織を円滑に経営できる人材
マネジメント

組織の企画する事業を理解し円滑に
運営できる人材
プレイヤー

人づくりスキーム（上手に世代交代）



人が生まれ育つ仕組み

経営についてプロから学ぶ環境



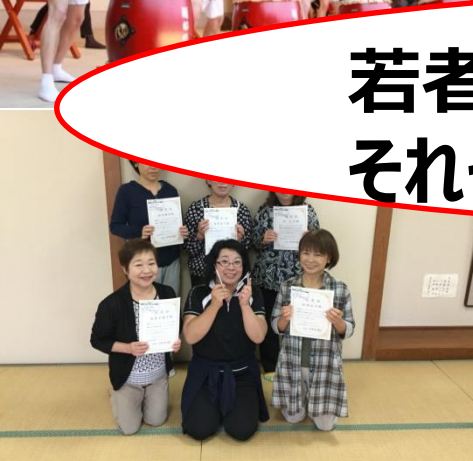
費用対効果
損益分岐点
マネジメント
マーケティング

プレイヤーとして、自己実現のための学び

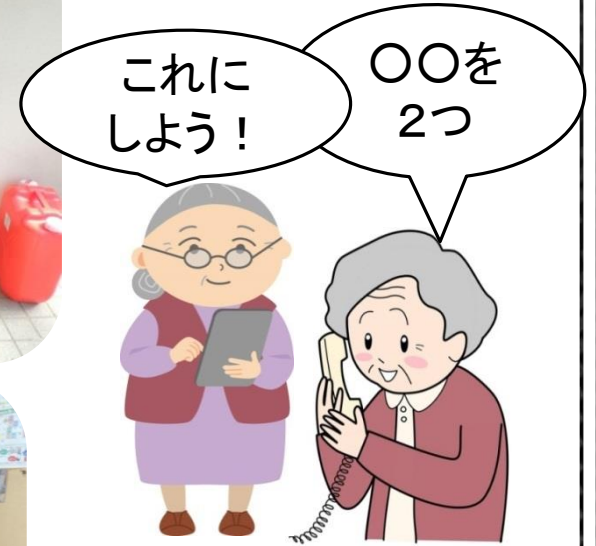




若者の役割を重視しつつも他の年代層にそれぞれに役割と生きがいを設定する

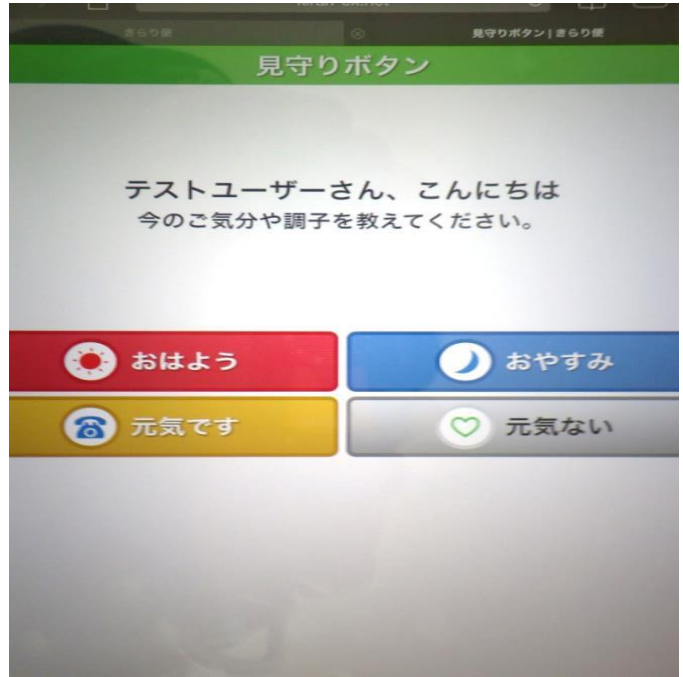


買物代行支援・見守り



お届け・見守り・御用聞き





ICTで見守りを補完

2015のプロジェクト 生活支援アプリの開発

コミュニケーション
サポート

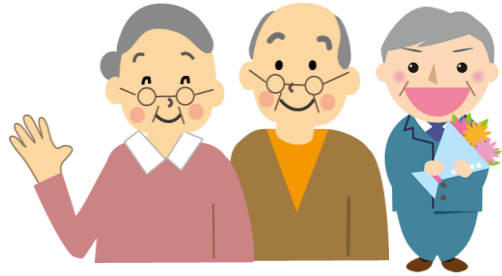
子育て支援連携
生涯学習連携
生涯スポーツ連携
各種情報発信
各種相談機能
貸館予約
買い物支援
地域商工会連携 など



開発チーム



2016の計画プロジェクト「高齢者生活支援事業」

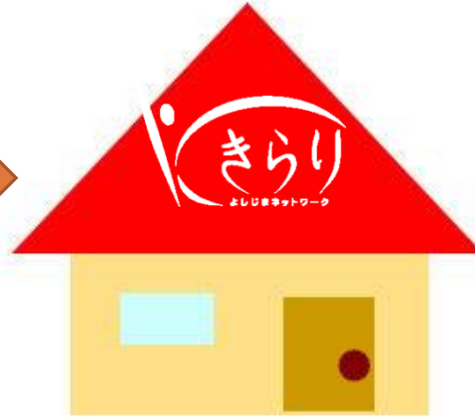


元気な高齢者やリタイヤ組

支援者登録



謝礼金



お助けチケット
発行



チケット代を
支払う



くらし安心 お助けチケット	
買い物券	700円
お掃除券	700円
お洗濯券	700円
草むしり券	700円
お散歩券	700円



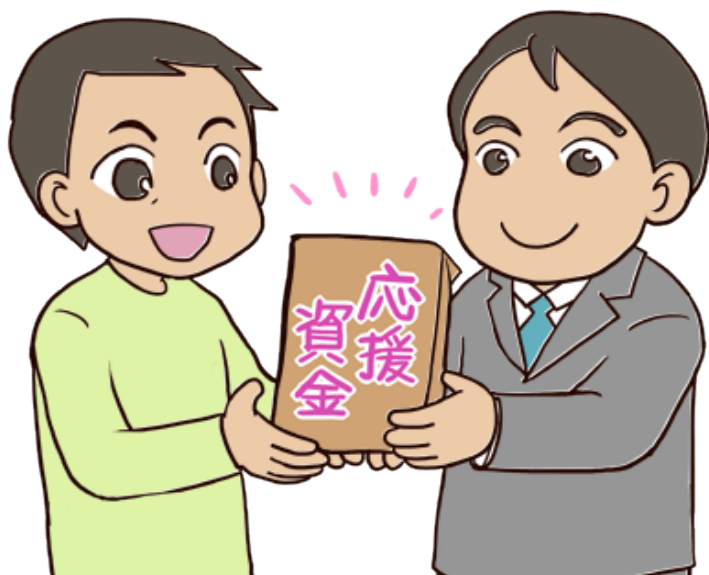
要支援者



資金づくり

補助金や助成金は

起爆剤として、次を準備する



営業力



提案力

+

実践力

コンビニとの協働による住民所得の向上活動



住民の起業をアシスト



6次産業へのチャレンジ



グリーンツーリズム班
おもてなし料理の開発

農家レストラン班
地域食材のメニュー開発

加工班
加工商品の開発



次世代型青年育成をアシスト

I・U・Jターンの受け皿カンパニー



都会のレストランへ食材の提供



都会でマルシェ



農業体験・就農指導



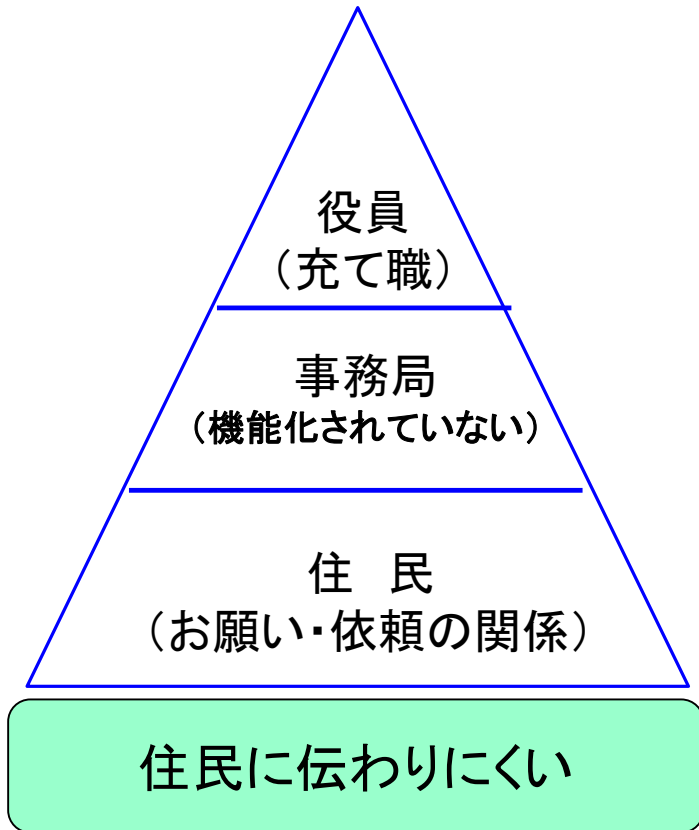
商品開発



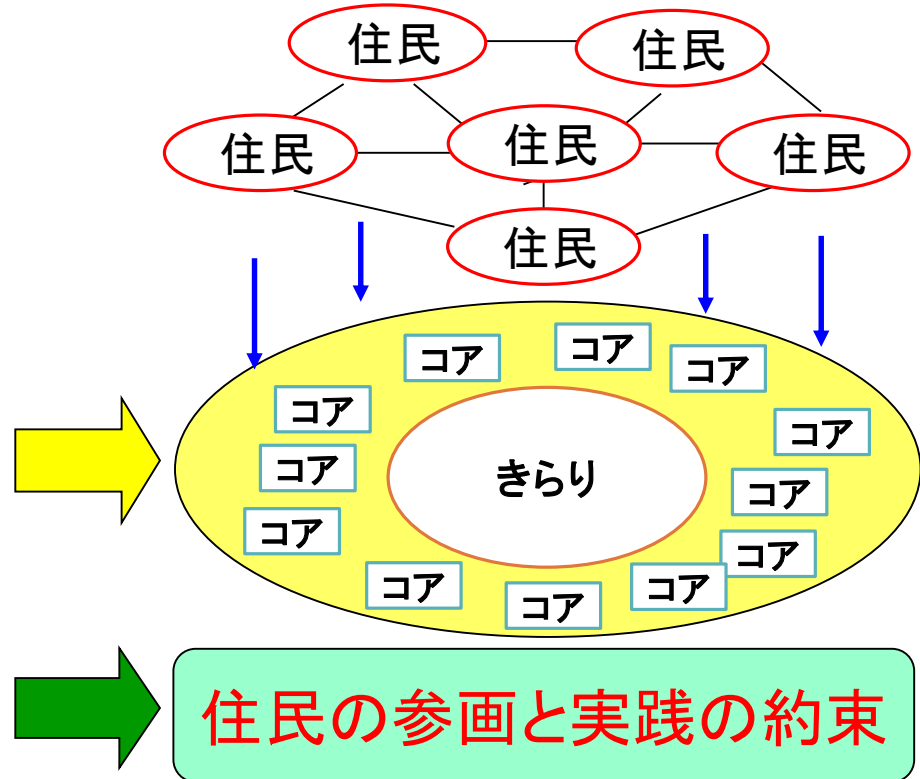
田んぼ、畑のアパートメント経営

住民同士がゆるやかにつながって活動に参加する

ピラミッド型



フラット&ウェブ型



地域づくりのビジョン = 行政が明確化

どのような地域づくりが必要なのか？

どのように課題を解決していくのか？

そのためにどのような組織、機能が 필요한のか？

地域づくりの主体 = 住民

ビジョンを共有し、住民だからできることを探してみる

実現のために学ぶ → やってみる → 成果を共有する

地域づくりへの支援 = 市町村

明確な支援策(財源、人的支援、人材育成)

ポイント

地域と行政のそれぞれの役割や業務を見直し、新しい協働の在り方について学び、相互の自己改革を進めていく

ありがとうございました

